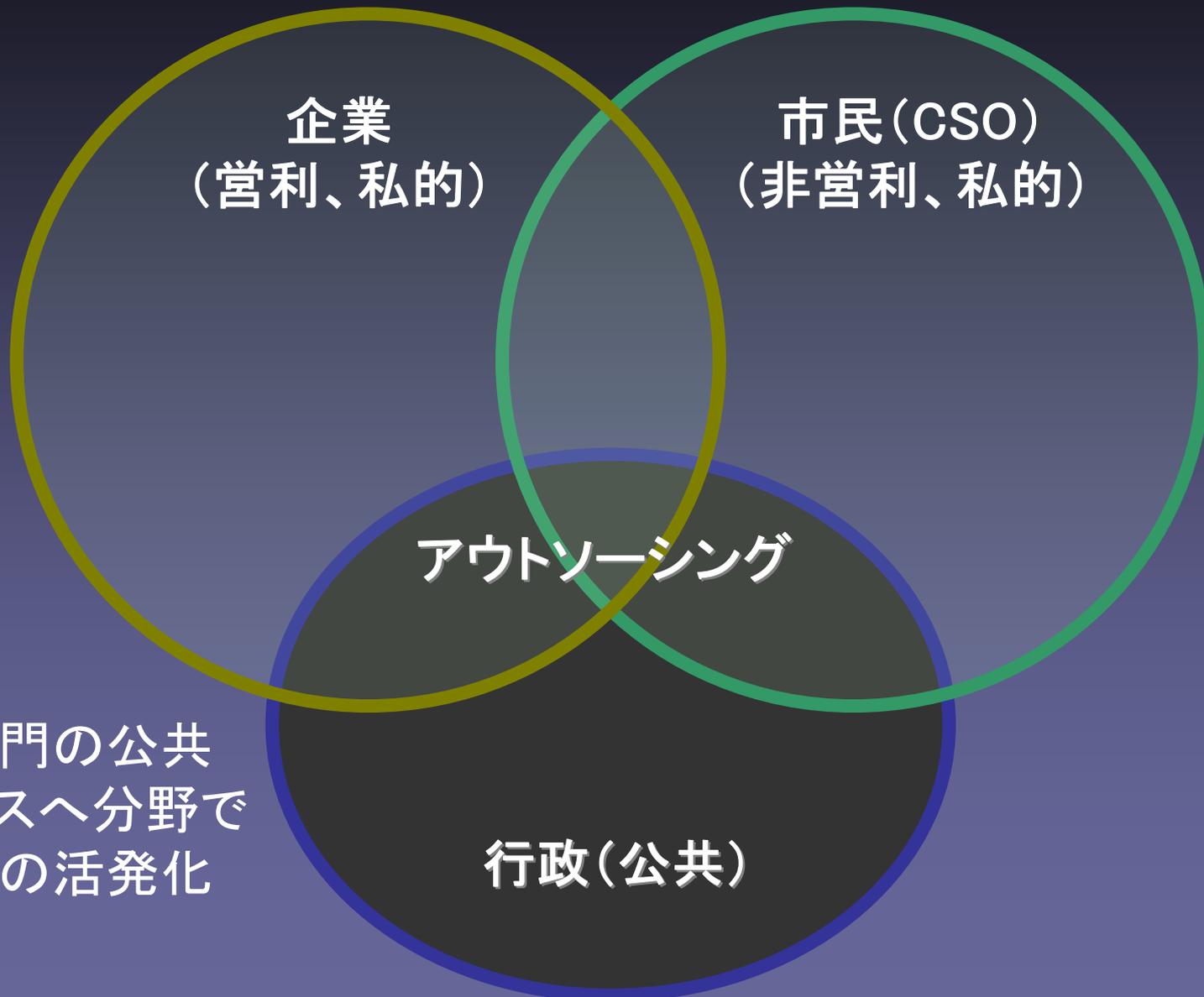
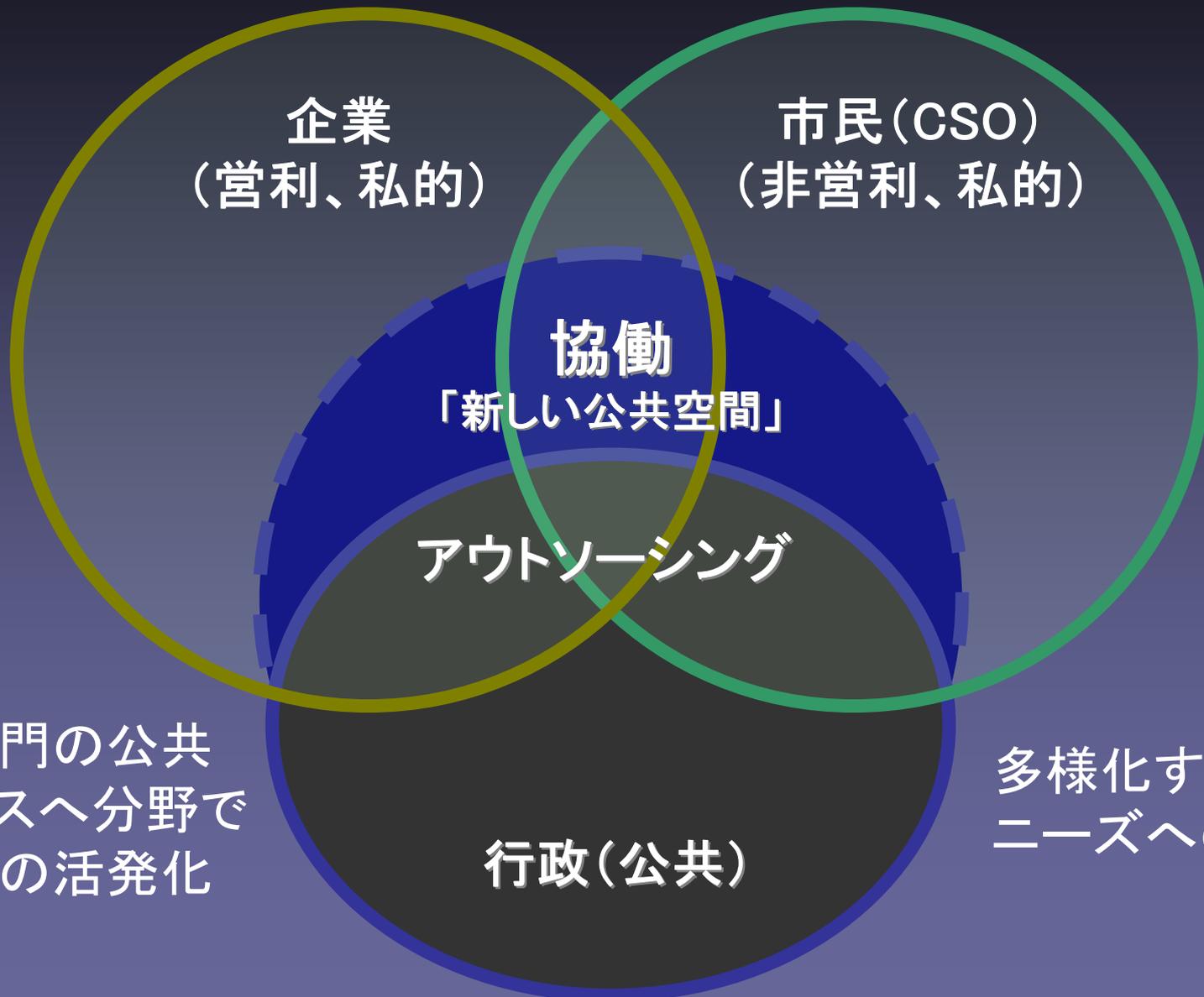


協働化テストの位置づけ

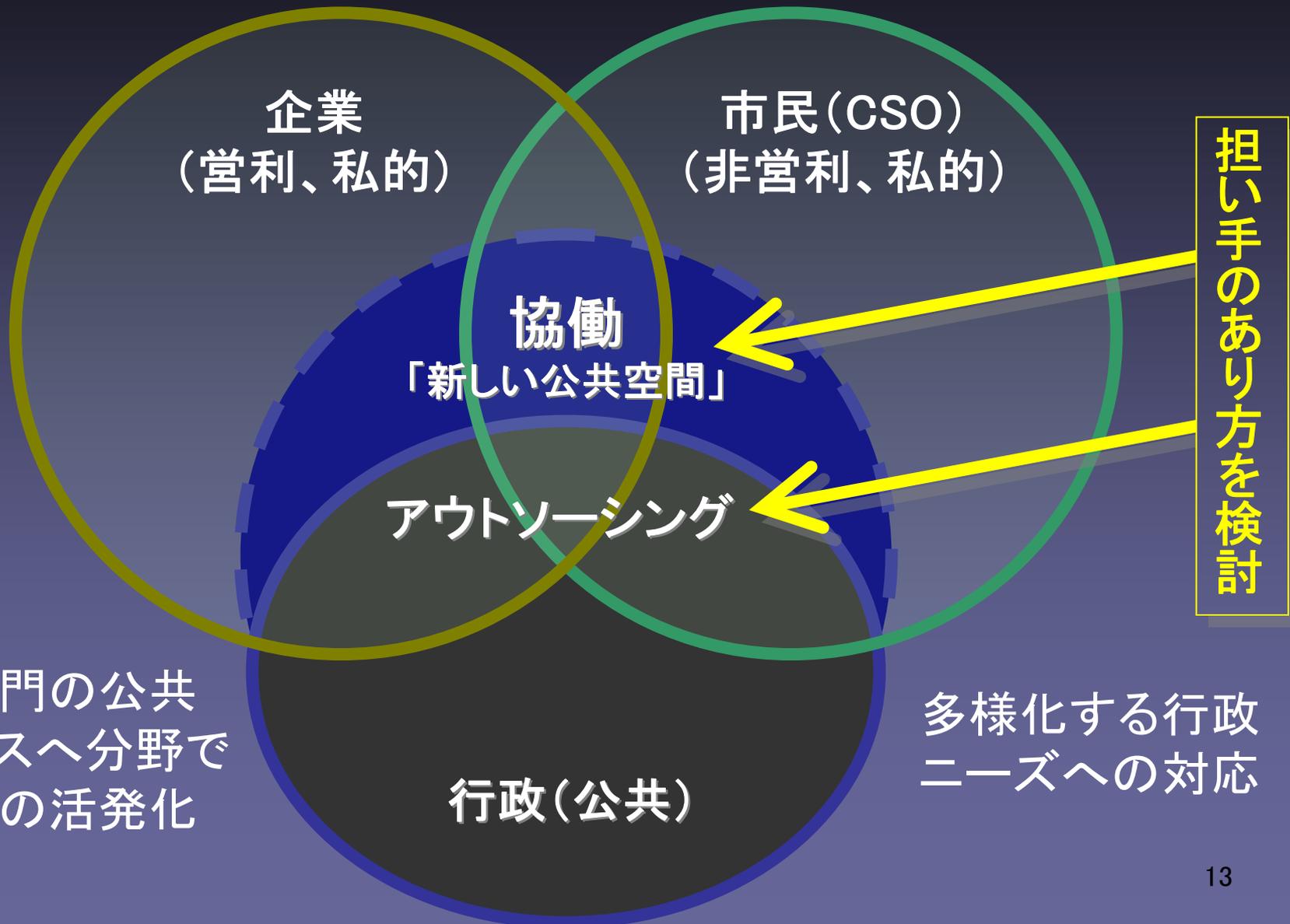


民間部門の公共
サービスへ分野で
の活動の活発化

協働化テストの位置づけ



協働化テストの位置づけ



(3) 具体的なサイクル(流れ)

協働化テストの流れ(サイクル)

<工程8>

評価(事業実施後)

- ・県民満足度調査の実施

<工程1>

業務内容の自己点検

- ・職員による業務内容の自己点検

<工程7>

契約・品質管理

- ・原則、採択案件は翌年度から実施

<工程2>

業務内容の公表

- ・全業務内容(警察、県立学校除く)の公表

<工程6>

提案書への回答

- ・提案者への回答及び公表

<工程3>

県民の皆様への説明会

- ・制度の趣旨等の説明及び県民等との意見交換会の実施

<工程5>

業務内容の協議

- ・提案者と関係課との協議

<工程4>

提案書の受付

- ・民間事業者、CSO、大学等から広く提案を募集

県の全業務を
対象として

平成20年度に行った改善点

CSOからの提案・要望を踏まえ、

- 「協働化テストを考える会」との協働で制度運用を行う。
(協定書締結)
- 「新しい公共空間」の創出のための新たな担い手の支援を図る。

見せ方について

- 「総合計画2007」の施策単位で、よりわかりやすく県民へ業務内容を公表
- 人件費相当額については昨年度分を見せるとともに、個別問合せについては、外部委託部分などの詳細なコスト情報をお知らせする

(4)これまでの成果

採択件数と採択率

区分	H18年度	H19年度	H20年度
採択	197(53%)	86(69%)	68(78%)
不採択	79(21%)	38(31%)	19(22%)
意見として整理	95(26%)	0(0%)	0(0%)
計	371(100%)	124(100%)	87(100%)

(単位:件、かっこ内は構成比)

これまでの成果等

○歳出縮減

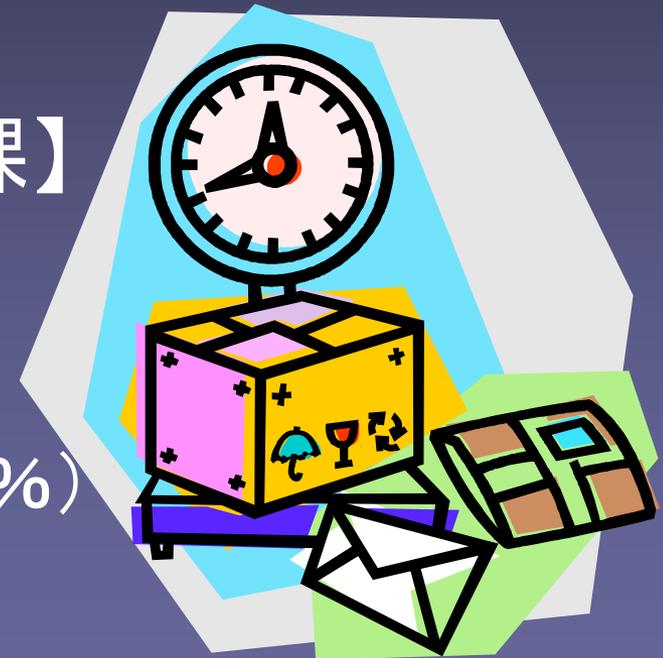
—郵送業務—

■企業からの提案【総務法制課】

民事業者のノウハウを活用した

郵送費のコスト削減対策(最大で7%)

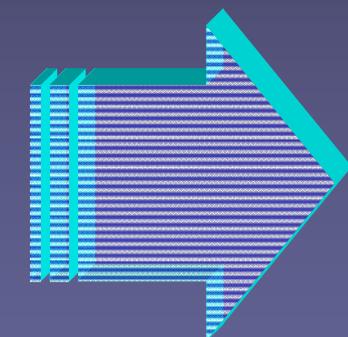
(メールダイエットサービス)



—電話交換業務の外部委託—



代表電話について、
現在職員4名で対応



コスト削減

提案内容:

県庁舎の電話交換業務について、外部委託で
実施することによる、コスト削減



H20から

職員2名、派遣2名で
対応する

○歳入対策

— 県有財産の有効活用 —

■CSOからの提案

県の空き施設（空き会議室）の有効活用策として、民間等へ有料で貸出し、増収対策につなげる

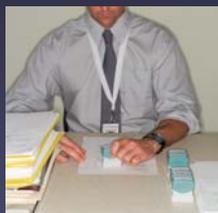


○事務の効率化

—公用車の集中管理—

提案内容：
各課でそれぞれ所管している
公用車の管理を集約化

△△課



××課



▽▽課



・事務の効率化

・稼働率の向上

・公用車の削減

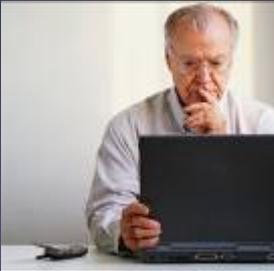
用度管財課に公用車の
管理を集約

—未収債権の回収業務の外部委託—

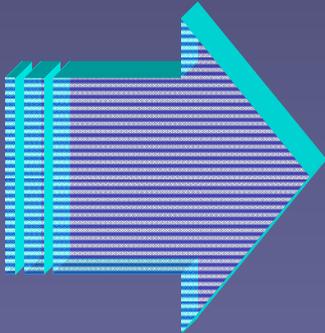
提案内容:

本庁関係課で所管している未収債権の回収をそれぞれ回収専門の事業者である債権回収会社(サービサー)にアウトソーシング

△△課



××課



業務内容:

- 電話督促
- 文書督促
- 訪問督促
- 現地調査・報告
- コンサルティングなど



徴収率の向上